

【在宅自己腹膜灌流について】

合 併 症

1) 腹 膜 炎

お腹の中に細菌が侵入して腹膜が炎症を起こした状態

■ 原 因 ①不潔な透析液を使用した

②バッグ交換時に、不潔な操作をした

③出口部・トンネル感染から波及した

④その他

■ 症 状 ①排液が白く濁る ②腹痛 ③発熱

正常な排液



混濁した排液



■ 対 処 方 法

・基幹病院（大垣市民病院）に連絡を取り対処する

2) 出口部・トンネル感染

細菌に感染し、赤く腫れたり膿がでる状態

■ 原因 ①出口部を不潔にしてしまった

②カテーテルが引っ張られて傷が出来、細菌が侵入した

③消毒薬やテープによる皮膚かぶれや掻き傷から細菌が侵入した

④その他

■ 症状 ①赤く腫れる ②膿が出る ③痛み

発赤



トンネル感染あり



■ 対処方法

- ・ 基幹病院（大垣市民病院）に連絡をとり対処する

3) 注液・排液不良

何らかの原因で注液、排液がスムーズに行えない状態

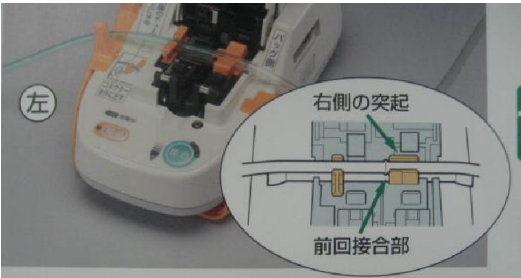
■ 原 因

- ①カテーテルやトランフアーチューブセットなどが折れ曲がっている
- ②クランプの開け忘れ、クリックチップのおり忘れ
- ③カテーテルの位置異常により、複腔内でカテーテルが跳ねあがった等が考えられます

■ 対 処 方 法

- ①カテーテル、トランフアーチューブセットなどが折れ曲がっていないか確認する
- ②クリックチップは折れているか、クランプは閉じていないか確認する
- ③体位を変えたり、歩行、足踏みなどを行う
- ④透析液バッグを加圧してみる
- ⑤医療スタッフ（機関病院）に連絡する

テルモ ツインバッグ交換 操作手順および注意点

手順	注意事項
⑨【プライミング（空気抜き）】 ・注液クランプ（青）と排液クランプ（白）を開く。 ・ゆっくり3つ数えたら、排液クランプ（白）を閉じる。 	
⑩【注液】 ・ローラークランプを開く。（注液開始） ・注液が終わったら、ローラークランプと注液クランプ（青）を閉じる。 	・注液中に接合部からの液もれに気づいた場合は通液しないでただちにすべてのクランプを閉じローラークランプよりおなか側をプラスチッククランプなどで閉じた後、すみやかに医療スタッフに連絡下さい。
⑪・むきんエースの電源ボタンを1秒以上押す。 ・カバーを開け、保護チューブをセットする。 ・おなかからのチューブをセットする。（装置の左側から） ・⑤、⑥と同様の操作をする。 	・前回の接合部を、右側の突起にぴったりとつける（同じ箇所での接合はしない）。
⑫・排液を確認する（排液確認シートを使用）。 ・排液用バッグ重量を測定し、記録ノートに記入する。 	

テルモ APD 操作手順および注意点

マイホームぴこ



無菌接合装置



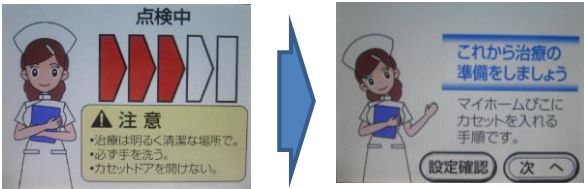
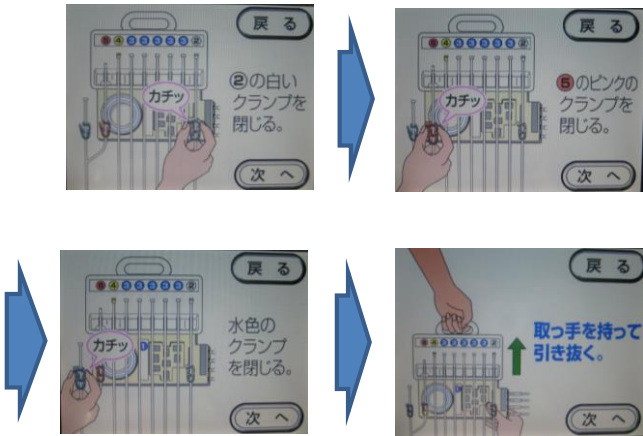
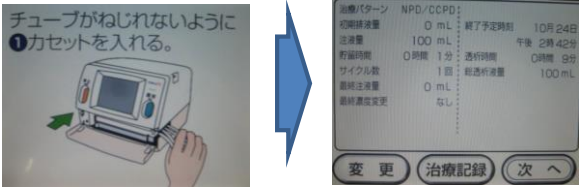
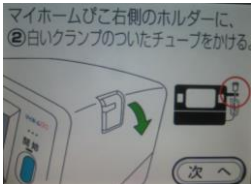
中性化腹膜透析液



環境整備：周囲に水ぬれした場所がないことを確認。

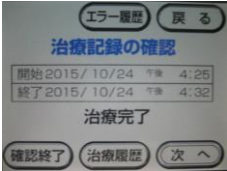
必要物品の準備：マイホームぴこ、ぴこセット、排液タンク、透析液、交換キット、むきんエース、排液確認シート、記録ノート

【治療の準備～開始】

手順	注意事項
①マイホームぴこの電源を入れる。 	
②石けんで手を洗う。	手洗い後、ハンドクリームや手指消毒剤を使用しない。
③ぴこセットのすべてのクランプを閉じる。 	
④マイホームぴこにぴこセットのカセットを入れる。 ・カセットドアを閉める。 	・チューブがからまないようにして「カチッ」と音がするまでしっかり奥まで入れる。
⑤マイホームぴこの右側のホルダーに腹膜ラインの白いコネクターをかける。 	

テルモ A P D 操作手順および注意点

【治療の終了】

手 順	注 意 事 項
③治療記録を確認する 1) 治療記録の確認画面で『次へ』を押して治療記録を確認しノートに記録する。 2) 終了したら『確認終了』を押す。  ➡ 	・排液の性状も確認しノートに記録する。
④カセットを取り出す。 1) カセットドアを手前に引いて開ける。 2) カセットドア内部の取出しボタンを押す。 3) カセットを取り出す。 4) カセットドアを閉める。 5) 電源スイッチを「切」にする。  ➡  ➡  ➡  ➡ 	
⑤使用済み品の処理。 使用済みの透析液バッグやびこセット、排液を処理する。	・透析液バッグやびこセットは各自治体のルールに従って適正に廃棄する。